

令和３年鋸南町教育委員会第１２回定例会議事録

1. 日 時 令和３年１１月１８日（木）午後２時００分～午後３時０５分
2. 場 所 鋸南町立中央公民館 ２階会議室
3. 出席委員 教育長 富永 安男 教育長職務代理者 山野 正人
委 員 中山 郁夫 委 員 篠原 恭恵
4. 出席職員 教育課長 福原 規生 主任指導主事 工藤 司
教育総務室長 笹生 いつ子 生涯学習室長 笹生 浩樹
5. 開 会 富永教育長が開会を宣言
6. 議事録署名人の指名 富永教育長が中山委員を指名
7. 議事録の承認 令和３年１０月１４日開催の第１１回定例会議事録について承認
8. 会議の傍聴 傍聴者なし

9. 教育長の報告

教育長の報告ですが、それに先立って一つ報告いたします。山野委員におかれましては、千葉県教育功労者表彰を受賞されました。平成２２年からの教育委員としての功績が評価され、１１月１日に千葉市で受賞式がございました。誠にありがとうございます。

それでは、教育長の報告をいたします。本日は、２点お話ししたいと思います。

まず、１点目でございますが、１１月校長会の時にもお話ししました、教育雑誌の中から「文化の継承」という記事で、中学校の合唱コンクールの事について載っていました。ご存知のとおり、コロナ禍のこの２年間は、各学校、特に中学校においては、合唱コンクールは元より色々な体育・文化行事がほとんど中止。わずかに実施したのは、本年でいうと駅伝のみということが続いています。一方、普段の授業においても、音楽は合唱活動そのものがない。理科の実験、アルコールランプその他、薬品等を使う授業ができないとか、家庭科・技術科等々でもソーシャルディスタンスが保てなければやれない。その他、給食に至っては、正面を向いて黙食とか、色々制限がある中で児童生徒は生活しております。しかし、子どもたちは、様々な行事を経験する中で総合的に育つと私は考えています。勉強だけではなく色々な経験が必要です。色々な行事がカットされる中で、子どもたちの育成を非常に私は心配しております。私も中学校の教員でしたので、特に運動会と合唱コンクールは永遠に残すべき学校行事だ

と思っておりました。特に合唱コンクールにおいては、運動と違って、見えない思いやりであるとか、合唱はハーモニーですから、一人だけ上手くてもダメなんです。相手を思いやるという点からも合唱は非常に大事だと思っています。そういうことを経験しない今の中学生の将来は心配です。校長会でも是非、中学校においては、この合唱コンクールを継続してもらいたいとお話いたしました。後は読んでいただければと思います。

2点目は、地教連の研究指定の件です。鋸南町の場合には14年前は小中3校、平成26年からは小中2校になってしまったものですから、幼稚園も含めて行っているところです。最初は鋸南中学校と小学校が3校ありましたので保田小、勝山小、佐久間小と4年に一度行ってきたのですが、他市では参考1のとおりです。令和4年度まで予定が決まっていたましたが、令和2年度は館山市と南房総市は休みましたので、令和3年以降の予定校がずれていきます。令和5年度以降どうするかと2回話し合いをしたのですが、結論とすれば、令和5年度以降の研究指定はやめます。最初の話し合いの時には私としては、鋸南町は継続してやっていきたいという考えでしたし、鴨川市も最初は継続という考えでしたが、昨日の会議で、鴨川市がやめるという事になりましたので、3対1でやめることになりました。理由といたしましては、特に南房総市などは、普段の校内研修時間も十分に取れない中で、今まで通りの研究指定を行う事に無理があるという事でした。

館山市においては、継続したいというのは良く分かりますが、単独で指定を受けると、市内でも数校ある、特に小さな学校では出来ないという事です。鴨川市は、出来れば、研究指定をやめて、問題は先生方の授業力なので、個人の力を伸ばすような研究・研修をしたいというような事です。しかし、やめることによってもっと低下するのではないかと、みんなで目標を持って研究していく事で力がつくのではないかとこの事を私は言いました。

結果、研究指定をやめるという、地教連としては大転換となります。地教連としての役割は何なのかという議論にもなりました。各市町からの負担金をいただいていますので、研究指定を希望した学校には研究助成金を出すことになりました。今までにないことが決まりましたので、皆さんにご報告させていただきました。以上で、私の報告を終わります。

10. 議 事

(1) 議決事項

① 議案第1号 鋸南町教育委員会表彰について

- ・笹生教育総務室長から、鋸南町教育委員会表彰被表彰者1名の候補理由等について、別紙説明書により説明がなされた。

質疑は特になく、議案第1号は原案どおり可決された。

11. 報告事項

(1) 行事の後援の承認について

- ・なし

(2) 各担当からの報告について

- ① 工藤主任指導主事から、各学校の生徒の様子について、学校行事についての報告・説明がなされた。

(質疑等)

- ・ 中山委員から「何らかの理由で登校できない生徒が、色々な授業形態を選べるようになると良い」との意見があった。

- ② 笹生生涯学習室長から、生涯学習室関係の事業について報告・説明がなされた。

- ③ 笹生教育総務室長から、教育課関係の12月補正予算について報告・説明がなされた。

- ④ 福原教育課長から、保育所会計年度任用職員の産休代替え採用について報告・説明がなされた。

12. その他

- ① 笹生教育総務室長から、今後の行事日程について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

- ② 富永教育長から、2月定例会について協議があり、2月17日木曜日中央公民館で開催することに決定した。

13. 閉 会 富永教育長が閉会を宣言

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和3年12月16日

鋸南町教育委員会

教 育 長 富 永 安 男

教育委員 中 山 郁 夫

議事録作成

事 務 局 笹 生 い づ 子